



平成 17 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況（連結）

平成 17 年 2 月 16 日

上場会社名 日本空港ビルディング株式会社

（コード番号：9706 東証第 1 部）

（URL <http://www.tokyo-airport-bldg.co.jp/>）

代 表 者 役職・氏名 代表取締役社長 門 脇 邦 彦

問合せ先責任者 役職・氏名 専 務 取 締 役 石 黒 正 吉 （TEL：（03）5757 - 8025）

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

・法人税等の計上基準につきましては、法定実効税率をベースとした年間予測税率により計算しております。

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有

平成16年3月期比 連結(新規)：2 社 (除外)：- 社 持分法(新規)：- 社 (除外)：- 社

2. 平成 17 年 3 月期第 3 四半期財務・業績の概況（平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 16 年 12 月 31 日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

(百万円未満は、切捨処理しております。)

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益		四半期(当期) 純 利 益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
平成 17 年 3 月期第 3 四半期	81,645	12.9	5,181	15.4	5,261	13.6	3,143	7.7
平成 16 年 3 月期第 3 四半期	72,299		6,122		6,087		3,405	
(参考)平成 16 年 3 月期	96,640	2.7	7,075	18.6	7,021	18.1	4,706	10.1

	1 株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
平成 17 年 3 月期第 3 四半期	31	29	-	-
平成 16 年 3 月期第 3 四半期	33	89	-	-
(参考)平成 16 年 3 月期	45	72	-	-

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。なお、前年同四半期より四半期財務・業績の概況の開示を行っているため、前年同四半期の増減率については記載しておりません。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第 3 四半期におけるわが国経済は、企業収益が大幅に改善し、設備投資が増加するなど企業部門が堅調に推移する中、個人消費は底堅く、輸出や生産が弱含むなど一部に弱い動きがみられ、総じて景気は緩やかな回復を続けました。航空業界におきましては、前期の S A R S 流行等の影響により大幅に減少した国際線旅客数は順調に回復したものの、数度にわたる大型台風の影響等を受け、国内線旅客数は減少し、さらに航空燃料価格に影響を及ぼす原油価格が高値で推移するなど厳しい状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは、羽田空港（東京国際空港）第 2 旅客ターミナルビルを昨年 12 月 1 日無事供用開始いたしました。既存羽田空港第 1 旅客ターミナルビル等との一体的運営による効率化とさらなる安全対策強化に全力を傾注するとともに、お客様本位の旅客ターミナルビルの運営を目指し、「訪れる人に安らぎを、去り行く人にしあわせを」を CS 基本理念として、全社を挙げて一層のサービス向上に努めてまいりました。また、業務の活性化と経営の合理化・効率化を図り、社業発展と経営基盤の強化に努めてまいりました。

その結果、当第3四半期の営業収益は 816億4千5百万円（前年同期比12.9%増）、営業利益は、第2旅客ターミナルビル供用開始に伴う一過性の諸費用の増加等により 51億8千1百万円（前年同期比15.4%減）となりました。経常利益は 52億6千1百万円（前年同期比13.6%減）、四半期純利益は 31億4千3百万円（前年同期比7.7%減）となりました。

これを事業の種類別セグメント毎に見ますと次のとおりであります。

（施設管理運営業）

航空会社統合や第2旅客ターミナルビルへの移転による航空会社事務室等に空室スペースの発生があるものの、第2旅客ターミナルビルへの新規テナント入居や、寮・宅跡地の積極的な活用等により、家賃収入は堅調に推移いたしました。また、施設利用料収入は、平成15年11月からの羽田 - 金浦間国際旅客チャーター便運航に伴う国際線施設利用料収入の増加により順調に推移いたしました。その他の収入は、有料待合室「エアポートラウンジ」の利用者増に伴う収入の増加等により順調に推移いたしました。

その結果、施設管理運営業の営業収益は 221億7千9百万円、営業利益は、第2旅客ターミナルビル供用開始に伴う一過性の諸費用の増加等により 12億6千7百万円となりました。

（物品販売業）

国内線売店につきましては、国内線旅客数が減少する中、新商品や季節感のある商品の積極的な催事販売、テレビ・雑誌等を利用した積極的な販売促進の展開に加え、第2旅客ターミナルビル内に新たに直営店舗を出店し、営業基盤の拡大に努めたこと等により、売上は順調に推移いたしました。

国際線売店につきましては、SARS流行等の影響により大幅に減少した国際線旅客数が回復するとともに、平成15年12月成田国際空港に新設した免税ブランドブティックの通年稼働、羽田 - 金浦間国際旅客チャーター便利用者増加による羽田空港免税店の売上増、中国、韓国の旅行代理店等との提携による訪日外国人旅客への販売促進、インターネットを活用した免税品事前予約販売の強化等積極的な営業展開により、売上は好調に推移いたしました。

その結果、物品販売業の営業収益は 503億8千1百万円、営業利益は 56億1千7百万円となりました。

（飲食業）

飲食店舗売上につきましては、国内線旅客数の減少と外食における低価格志向や、第1旅客ターミナルビル内店舗リニューアル工事に伴う一時閉店等厳しい状況の下で、第2旅客ターミナルビル内に新たに店舗を出店し、営業基盤の拡大に努めたこと等により、売上は堅調に推移いたしました。

機内食売上につきましては、前期にSARS流行等の影響に伴う大幅な減便や運休による大幅な落ち込みから順調に回復しております。

その結果、飲食業の営業収益は 118億5千6百万円、営業利益は 1億7千4百万円となりました。

（2）財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
平成17年3月期第3四半期	202,450	111,934	55.3	1,114 25
平成16年3月期第3四半期	178,861	108,394	60.6	1,078 73
(参考)平成16年3月期	177,164	110,208	62.2	1,095 71

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
平成17年3月期第3四半期	4,202	26,629	15,422	12,965
平成16年3月期第3四半期				
(参考)平成16年3月期	8,885	12,856	6,940	19,969

(注)当連結会計年度より四半期連結キャッシュ・フローの状況の開示を行っているため、前年同四半期実績は記載しておりません。

【参 考】平成 17 年 3 月期の連結業績予想（平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 17 年 3 月 31 日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	106,500	6,000	3,300

（参考）1 株当たり予想当期純利益（通期） 32 円 85 銭

[業績予想に関する定性的情報等]

平成16年11月17日に公表いたしました通期の業績予想につきましては、当第3四半期の業績はおおむね計画どおりに推移しており、現時点では変更はございません。

添付資料

- （ 1 ） 要約連結貸借対照表
- （ 2 ） 要約連結損益計算書
- （ 3 ） 要約連結剰余金計算書
- （ 4 ） 要約連結キャッシュ・フロー計算書
- （ 5 ） 事業の種類別セグメント情報
- （ 6 ） 事業の種類別売上高

以 上

(1) 要約連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当第 3 四半期 (平成16年12月31日)		前第 3 四半期 (平成15年12月31日)		前連結会計年度 (平成16年3月31日)	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比
(資産の部)		%		%		%
流 動 資 産						
1. 現 金 及 び 預 金	14,167		21,530		25,701	
2. 売 掛 金	6,103		4,149		3,567	
3. 有 価 証 券	4		3,375		1,275	
4. た な 卸 資 産	4,350		3,756		3,497	
5. 繰 延 税 金 資 産	1,385		973		817	
6. そ の 他	6,512		1,622		860	
貸 倒 引 当 金	7		7		7	
流 動 資 産 合 計	32,517	16.1	35,399	19.8	35,713	20.2
固 定 資 産						
1. 有 形 固 定 資 産						
(1) 建 物 及 び 構 築 物	125,173		65,641		68,634	
(2) 機 械 装 置 及 び 運 搬 具	2,648		1,404		1,379	
(3) 土 地	7,587		9,497		7,632	
(4) 建 設 仮 勘 定	10,191		46,667		43,806	
(5) そ の 他	5,231		2,250		2,384	
有 形 固 定 資 産 合 計	150,833	74.5	125,461	70.2	123,837	69.9
2. 無 形 固 定 資 産	612	0.3	231	0.1	230	0.1
3. 投 資 そ の 他 の 資 産						
(1) 投 資 有 価 証 券	9,204		7,873		8,759	
(2) 繰 延 税 金 資 産	6,503		6,996		5,729	
(3) そ の 他	2,779		2,899		2,894	
投 資 そ の 他 の 資 産 合 計	18,487	9.1	17,769	9.9	17,383	9.8
固 定 資 産 合 計	169,933	83.9	143,462	80.2	141,451	79.8
資 産 合 計	202,450	100.0	178,861	100.0	177,164	100.0

(単位：百万円)

科 目	当 第 3 四 半 期 (平成16年12月31日)		前 第 3 四 半 期 (平成15年12月31日)		前連結会計年度 (平成16年3月31日)	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比
(負債の部)		%		%		%
流 動 負 債						
1.買 掛 金	5,008		4,161		3,574	
2.短 期 借 入 金	7,723		2,345		3,867	
3.未 払 法 人 税 等	1,949		1,272		1,153	
4.賞 与 引 当 金	535		586		891	
5.そ の 他	12,193		7,151		8,329	
流 動 負 債 合 計	27,410	13.5	15,516	8.7	17,817	10.0
固 定 負 債						
1.長 期 借 入 金	41,211		31,048		28,581	
2.退 職 給 付 引 当 金	9,029		12,999		9,355	
3.役 員 退 職 慰 労 引 当 金	919		765		819	
4.羽 田 西 側 施 設 改 修 費 引 当 金	2,500		1,750		2,000	
5.そ の 他	6,156		5,271		5,090	
固 定 負 債 合 計	59,816	29.6	51,835	29.0	45,847	25.9
負 債 合 計	87,227	43.1	67,352	37.7	63,665	35.9
(少数株主持分)						
少 数 株 主 持 分	3,288	1.6	3,115	1.7	3,291	1.9
(資本の部)						
資 本 金	17,489	8.6	17,489	9.8	17,489	9.9
資 本 剰 余 金	21,309	10.5	21,309	11.9	21,309	12.0
利 益 剰 余 金	71,601	35.4	68,271	38.2	69,572	39.3
その他有価証券評価差額金	1,606	0.8	1,370	0.7	1,886	1.0
自 己 株 式	71	0.0	46	0.0	50	0.0
資 本 合 計	111,934	55.3	108,394	60.6	110,208	62.2
負債、少数株主持分及び資本合計	202,450	100.0	178,861	100.0	177,164	100.0

(2) 要約連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当第3四半期 (自平成16年4月1日 至平成16年12月31日)		前第3四半期 (自平成15年4月1日 至平成15年12月31日)		前連結会計年度 (自平成15年4月1日 至平成16年3月31日)	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	百分比
営 業 収 益		%		%		%
1. 家賃収入	8,849		8,668		11,571	
2. 施設利用料収入	5,980		5,215		7,048	
3. その他の収入	6,034		5,368		7,365	
4. 商品売上高	49,730		42,906		57,150	
5. 飲食売上高	11,050		10,140		13,505	
(計)	81,645	100.0	72,299	100.0	96,640	100.0
営 業 費 用						
1. 商品売上原価	34,820		30,122		39,775	
2. 飲食売上原価	5,040		4,258		5,947	
3. 販売費及び一般管理費	36,602		31,795		43,842	
(計)	76,463	93.7	66,176	91.5	89,565	92.7
営 業 利 益	5,181	6.3	6,122	8.5	7,075	7.3
営 業 外 収 益						
1. 受取利息及び配当金	312		146		170	
2. 雑収入	833		672		947	
(計)	1,145	1.4	818	1.1	1,118	1.2
営 業 外 費 用						
1. 支払利息	870		748		1,045	
2. 雑支出	195		106		126	
(計)	1,065	1.3	854	1.2	1,171	1.2
経 常 利 益	5,261	6.4	6,087	8.4	7,021	7.3
特 別 利 益						
1. 投資有価証券売却益	131		-		-	
2. 厚生年金基金代行部分返上益	-		-		3,754	
(計)	131	0.2	-	-	3,754	3.9
特 別 損 失						
1. 固定資産除却損	47		-		-	
2. 固定資産減損損失	-		-		1,868	
3. その他の投資等評価損	-		12		16	
(計)	47	0.1	12	0.0	1,885	2.0
税 金 等 調 整 前 四半期(当期)純利益	5,345	6.5	6,075	8.4	8,890	9.2
法 人 税 等	2,167	2.7	2,652	3.7	3,998	4.1
少 数 株 主 利 益	34	0.0	17	0.0	185	0.2
四半期(当期)純利益	3,143	3.8	3,405	4.7	4,706	4.9

(3) 要約連結剰余金計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	当第3四半期 (自平成16年4月1日 至平成16年12月31日)	前第3四半期 (自平成15年4月1日 至平成15年12月31日)	前連結会計年度 (自平成15年4月1日 至平成16年3月31日)
		金 額	金 額	金 額
	(資本剰余金の部)			
	資本剰余金期首残高	21,309	21,309	21,309
	資本剰余金四半期末 (期末)残高	21,309	21,309	21,309
	(利益剰余金の部)			
	利益剰余金期首残高	69,572	65,709	65,709
	利益剰余金増加高			
	1. 四半期(当期)純利益	3,143	3,405	4,706
	利益剰余金減少高			
	1. 配 当 金	1,004	703	703
	2. 取 締 役 賞 与	110	140	140
	(計)	1,114	843	843
	利益剰余金四半期末 (期末)残高	71,601	68,271	69,572

(4) 要約連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	当第3四半期 (自平成16年4月1日 至平成16年12月31日)	前連結会計年度 (自平成15年4月1日 至平成16年3月31日)
		金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益		5,345	8,890
減価償却費		5,401	6,834
固定資産減損損失		-	1,868
羽田西側施設改修費引当金の増加額		500	1,000
売上債権の増加額		2,536	271
その他の流動資産の増減額		5,559	108
仕入債務の増加額		1,434	174
その他の流動負債の増加額		2,310	24
その他		21	4,035
小計		6,918	14,594
利息及び配当金の受取額		312	159
利息の支払額		508	1,036
法人税等の支払額		2,519	4,832
営業活動によるキャッシュ・フロー		4,202	8,885
投資活動によるキャッシュ・フロー			
定期預金の払戻による収入		4,530	34
有価証券の売却による収入		1,275	11,661
投資有価証券の取得による支出		936	562
有形固定資産の取得による支出		31,327	23,361
その他		170	627
投資活動によるキャッシュ・フロー		26,629	12,856
財務活動によるキャッシュ・フロー			
長期借入れによる収入		16,785	7,589
配当金の支払額		1,040	739
その他		321	90
財務活動によるキャッシュ・フロー		15,422	6,940
現金及び現金同等物の増減額		7,003	2,969
現金及び現金同等物の期首残高		19,969	17,000
現金及び現金同等物の四半期(期末)残高		12,965	19,969

(注) 当連結会計年度より四半期連結キャッシュ・フロー計算書の開示を行っているため、前年同四半期実績は記載しておりません。

(5) 事業の種類別セグメント情報

当第3四半期(自平成16年4月1日至平成16年12月31日)

(単位:百万円)

項目	施設管理 運営業	物品販売業	飲食業	計	消去 又は全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	20,642	49,953	11,050	81,645	-	81,645
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,537	427	806	2,771	(2,771)	-
計	22,179	50,381	11,856	84,417	(2,771)	81,645
営業費用	20,911	44,764	11,681	77,357	(893)	76,463
営業利益	1,267	5,617	174	7,060	(1,878)	5,181

前連結会計年度(自平成15年4月1日至平成16年3月31日)

(単位:百万円)

項目	施設管理 運営業	物品販売業	飲食業	計	消去 又は全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	25,664	57,470	13,505	96,640	-	96,640
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,000	412	871	3,283	(3,283)	-
計	27,665	57,882	14,376	99,924	(3,283)	96,640
営業費用	24,245	51,764	14,687	90,696	(1,131)	89,565
営業利益又は営業損失()	3,419	6,118	310	9,227	(2,152)	7,075

(注) 当連結会計年度より事業の種類別セグメント情報の開示を行っているため、前年同四半期実績は記載しておりません。

(6) 事業の種類別売上高

(単位:百万円)

科目	期別	当第3四半期 (自平成16年4月1日 至平成16年12月31日)	前第3四半期 (自平成15年4月1日 至平成15年12月31日)	前連結会計年度 (自平成15年4月1日 至平成16年3月31日)
		金額	金額	金額
施設管理運営業		20,642	19,013	25,664
家賃収入		8,849	8,668	11,571
施設利用料収入		5,980	5,215	7,048
その他の収入		5,811	5,129	7,044
物品販売業		49,953	43,145	57,470
国内線売店売上		22,165	20,986	27,395
国際線売店売上		18,544	15,499	21,008
その他の売上		9,243	6,659	9,066
飲食業		11,050	10,140	13,505
飲食店舗売上		6,453	6,228	8,173
機内食売上		3,704	2,882	3,997
その他の売上		892	1,029	1,334
合計		81,645	72,299	96,640